

# 飯島町観光基本計画

今後、ますます人口が減少する時代において、大きな投資を前提とする観光は困難です。むしろ、一つずつ成果を積み重ねながら、必要に応じて積極的な一手を打つような戦略的な姿勢が求められます。

本計画では、未来に向かって持続的で活力あるまちづくりを計画的、総合的に推進していくことを目的として、観光をツールとした地域振興の体制や方策を明らかにします。

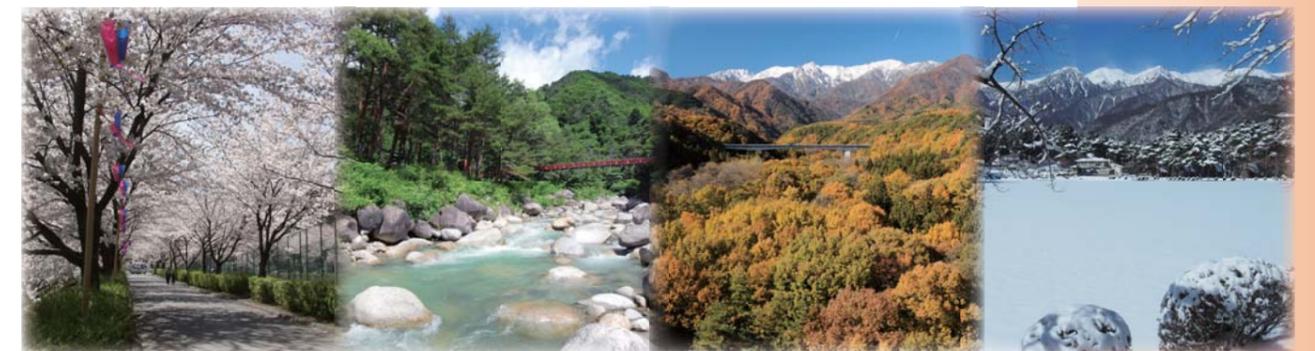
## グランドデザイン(キャッチフレーズ)

### 『山と水を活かした自然観光のまち』 ～ いいじまプライドの醸成～

飯島町における観光振興とは、地域の魅力を結集し、発信することです。そのためにも、町民が「楽しみ」、「憩い」、「集う」ことができる場所を整備すること、また、それらの田舎の楽しみを戦略的に継続させていく仕組みや組織を構築することが必要となります。

この計画が目指す姿を現実にするための方策が、アクションプランです。本計画では、以下の二つの項目を重点的に進めます。

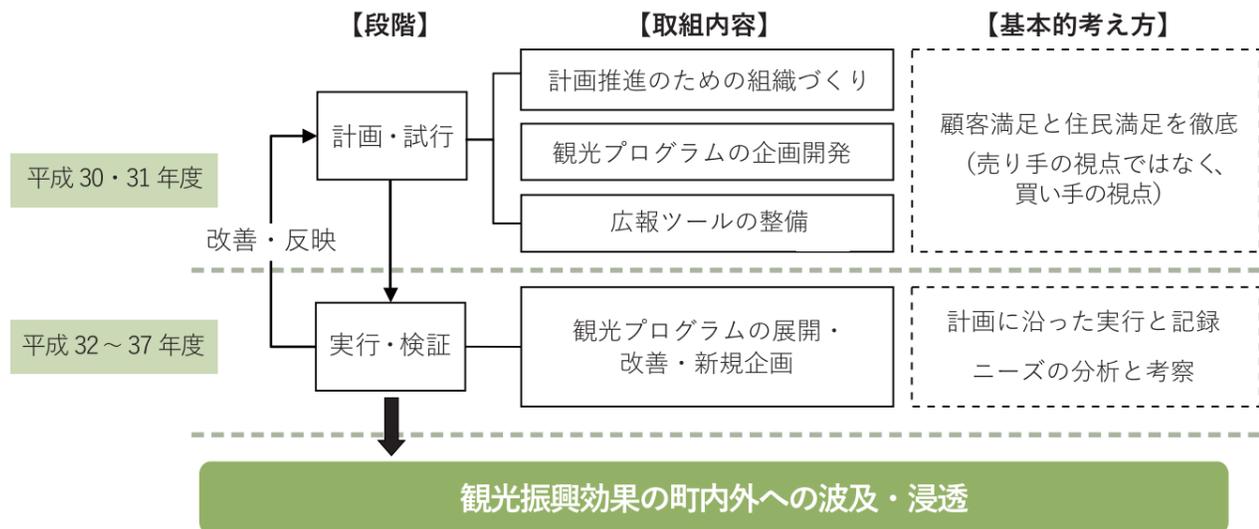
- 与田切溪谷の整備事業 与田切川周辺エリアの周遊コースの整備と活用方法の検討
- 観光推進体制の整備 観光をツールとした地域振興に長期的に取り組むための体制づくり



## 推進体制の仕組み

本計画では、様々な取組を一元的に企画・運営・管理する機関「(仮称)飯島町観光戦略会議」(メンバー:商工観光事業者、地域づくり関係者、観光協会等)を設置します。

(仮称)飯島町観光戦略会議では、観光プログラムの企画開発の仕組みとして、参加者全員が議論に積極的に参加するワークショップ形式の会議を主催します。会議で挙げた企画は、行政が様々な支援をしつつ、企画に携わる個人・団体等が主体的に取り組み、積極的に試行します。



## 推進体制の仕組みの例



### 【地域の観光資源を組み合わせたツアーの開催】

- 有料のプログラムを企画・運営 (企画展開: (仮称)飯島町観光戦略会議)
- ツアーガイドはプログラムで活用する資源に詳しい地域住民



### 【交流人口増加に伴う地域経済への恩恵】

- 町内の事業体への経済効果
- 地域コミュニティの担い手不足解消

### 【地域住民への経済的フィードバック】

- ツアーガイドを務めた住民に謝金支払い (地域住民への直接的経済効果)



### 【基金化し地域振興へのフィードバック】

- 例えば、草刈りに係る経費へ基金からの補助拠出



### 【ふるさと愛の醸成による生産年齢人口の確保】

- 身近な資源への気付き、Uターンの増加

## (仮称) 与田切溪谷ウォーターパーク構想

アクションプランでは、自然観光のシンボルとして与田切溪谷の整備事業、住民参加による観光推進体制の整備の2点を重点項目としており、ここでは、与田切溪谷の整備事業の「(仮称) 与田切溪谷ウォーターパーク構想」をご紹介します。

本構想は、飯島町の観光拠点である、与田切公園から坊主平・御座松エリアを越えて、千人塚公園に至る与田切溪谷一帯を整備し、与田切川の清流が織りなす、親水の空間を周遊コースでつなぎます。

### 与田切公園

- ファミリー層の利用が多く、キャンプやバーベキューなど家族、仲間を利用する機会も多いことから、老朽化した施設を計画的に改修し、清潔で使いやすい観光拠点となるよう取組を進めます。



### 千人塚公園

- 城ヶ池を使った複合的なアウトドアスポーツが楽しめる観光拠点として、自然を最大限活用できるよう、施設の整備、体験プログラムの作成を進めます。
- ソメイヨシノの植え替え、多品種・他樹木への転換を検討します。



### 坊主平・御座松エリア

- 千人塚公園から与田切公園までの周遊コースを遊歩道・トレッキングコースとして整備します。
- 坊主平・御座松エリアを安全に利用できるよう、適正な管理ができる体制づくりを進めます。



### 滝ヶ原周辺エリア

- グリーンツーリズムやエコツーリズムなど、飯島町の自然を体感できる観光プログラムの拠点として整備を進めます。



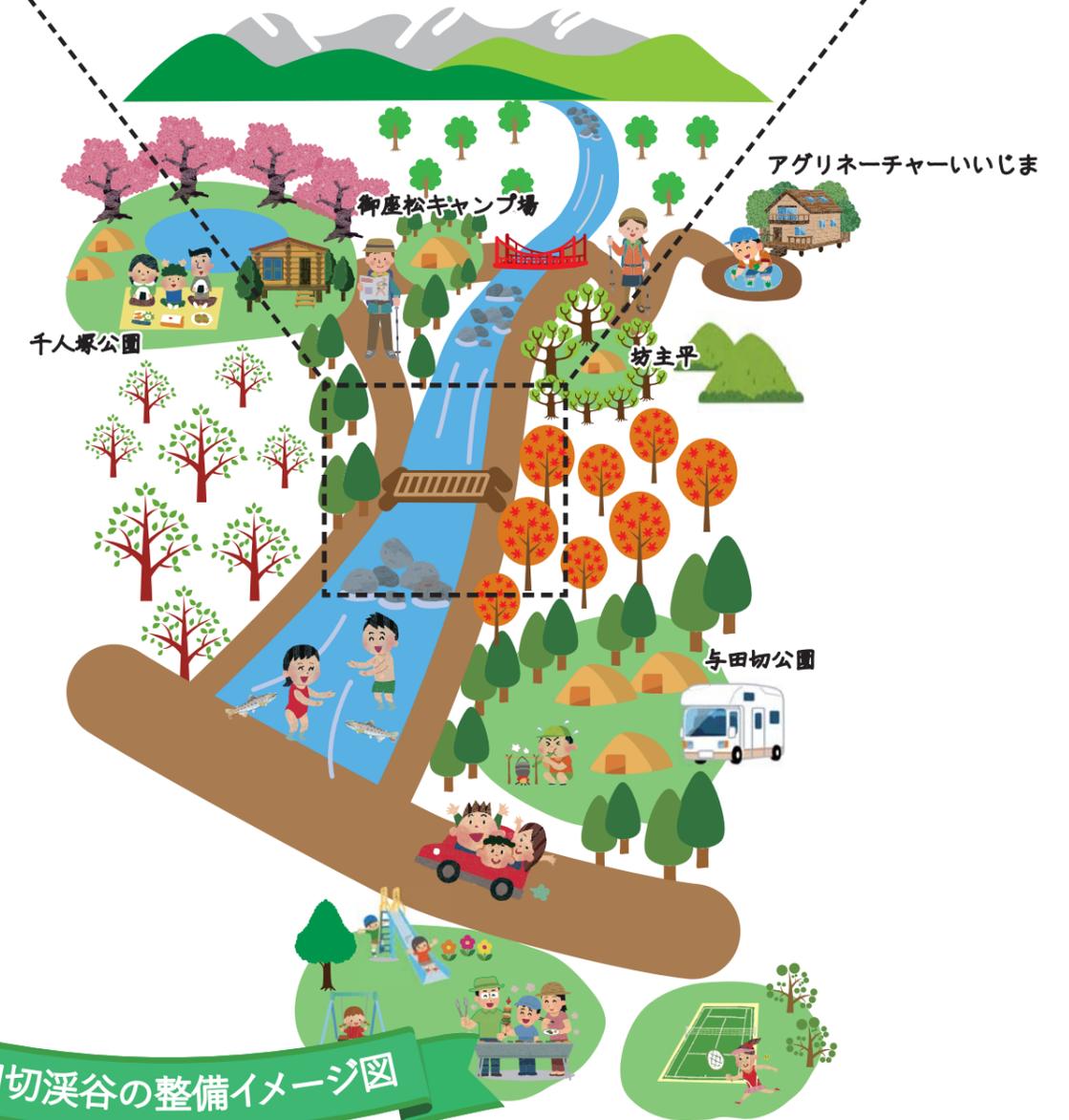
みんなでつくる  
与田切溪谷を目指します



住民が与田切溪谷を訪れ、水と緑に親しめる環境づくり

体験・周遊プログラムの推進

遊歩道の整備



与田切溪谷の整備イメージ図